

大阪 歯科 保険医新聞

2/25
2012年第1099号
(毎月5、15、25日発行)

12年度診療報酬改定

基礎的技術料引き上げも、歯科医療危機打開にはほど遠い改定

吉田裕志社保研究部長が談話



中協が厚労相に2012年度診療報酬改定案を審判したことを受け、吉田裕志社保研究部長は17日、談話を発表した。

(以下、談話全文)

今次改定は、二つの重点課題と四つの視点に基づいて行われ、歯科関連では歯周基本治療や歯周外科手術、歯内療法全般、充填・歯冠修復・有床義歯などの基礎的技術料が引き上げられた。

昨年9月、野田総理は田村智子参議院議員の質問主意書に対し、58項目が25年間点数が変わっていないことを明らかにし、「適切な歯科診療の確保を図るため、中協協における議論を踏まえ、適切に設定してまいりたい」と答弁せざるを得なかった。協会・保団連のたゆまざる運動が反映したものである。

しかし、基礎的技術料など若干の評価がされたとはいえ、公称改定率は通常国会が開会されたのを受けて9日、協会・保団連は診療報酬改善、震災復興対策強化などを求める行動に取り組んだ。協会から下井戸昭介副理事長、森啓理事、古田光行・宮本辰雄両監事

「環境整備のためには評価できるが、厳しい施設基準がある。新設された歯科訪問診療補助加算も「在宅療養支援歯科診療所に属する歯科衛生士」に限定されている。いずれも実態に合わない施設基準は外し、すべての歯科医療機関で算定できるようにすべきである。接着ブリッジの臼歯部への適用拡大、機械的歯面清掃が独立評価、歯科用CTの独立評価、在宅で「常時寝たきり」の状態の表現が削除され、訪問診療料算定の20分要件が部分的に緩和されたことなどは評価できる。

また、先進医療から「広範囲顎骨支持型補綴」と「広範囲顎骨支持型補綴」が保険に導入され、給付範囲が広がったことは評価できるが、開業医で取り扱う「インプラント義歯」と混同した診療現場の混乱が危惧される。医療費抑制のための規制強化には断固として反対する。

協会は、日本の歯科医療、国民皆保険制度の維持のため、患者・国民と共同して「保険でよい歯科医療」の実現をもとめる運動を強めるものである。

協会が義務づけられる。医療費抑制のための規制強化には断固として反対する。

協会が、日本の歯科医療、国民皆保険制度の維持のため、患者・国民と共同して「保険でよい歯科医療」の実現をもとめる運動を強めるものである。

協会が、日本の歯科医療、国民皆保険制度の維持のため、患者・国民と共同して「保険でよい歯科医療」の実現をもとめる運動を強めるものである。

1・7%に過ぎない。中協の医療経済実態調査では歯科医院の単月損益差額は1989年の調査開始以来はじめて平均で100万円を割り込み、最頻値は70万円前後と推測される。まさに崩壊の危機は加速進行しており、歯科医療を建て直すには少なくとも10%以上の引き上げが必要である。患者・国民がもてる歯科保険適用の拡大、窓口負担軽減とともに、基本診療料と基礎的技術料のさらなる改善を強くもとめるものである。

以下、個々の項目でいくつかの点を指摘したい。基礎的技術料が上げられたが、歯肉息肉除去、

実態に合わない施設基準

歯科外来診療環境体制加算は、初診時だけか、再診時にも算定できることになった。患者にとってより安全・安心で

厚労省は2日、東日本大震災の被災者の医療費免除措置を延長することを発表した。福島第一原発事故の警戒区域や計画避難区域などの世帯は2013年2月末まで、震災の被災区域の世帯は12年9月末まで延長する。介護保険の利用料についても、9日の同省事

厚労省は2日、東日本大震災の被災者の医療費免除措置を延長することを発表した。福島第一原発事故の警戒区域や計画避難区域などの世帯は2013年2月末まで、震災の被災区域の世帯は12年9月末まで延長する。介護保険の利用料についても、9日の同省事

厚労省は2日、東日本大震災の被災者の医療費免除措置を延長することを発表した。福島第一原発事故の警戒区域や計画避難区域などの世帯は2013年2月末まで、震災の被災区域の世帯は12年9月末まで延長する。介護保険の利用料についても、9日の同省事

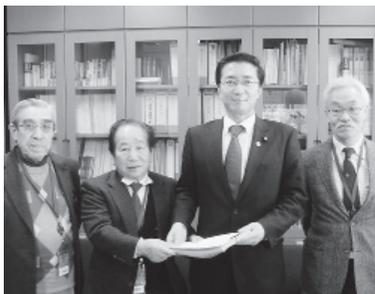
厚労省は2日、東日本大震災の被災者の医療費免除措置を延長することを発表した。福島第一原発事故の警戒区域や計画避難区域などの世帯は2013年2月末まで、震災の被災区域の世帯は12年9月末まで延長する。介護保険の利用料についても、9日の同省事

厚労省は2日、東日本大震災の被災者の医療費免除措置を延長することを発表した。福島第一原発事故の警戒区域や計画避難区域などの世帯は2013年2月末まで、震災の被災区域の世帯は12年9月末まで延長する。介護保険の利用料についても、9日の同省事

国会行動 診療報酬増へ要請重ねる 決起集会に賛同示す



辻恵議員 (右)



山下芳生議員 (右から2人目)



服部良一議員 (左)

通常国会が開会されたのを受けて9日、協会・保団連は診療報酬改善、震災復興対策強化などを求める行動に取り組んだ。協会から下井戸昭介副理事長、森啓理事、古田光行・宮本辰雄両監事

と事務局が参加、患者負担の軽減や診療報酬の改善、3・3近畿総決起集会への参加・賛同を呼び

かけた。面談に応じたのは、辻恵(民主)・宮本岳志(共産)・服部良一(社民)各衆議院議員、山下芳生参議院議員の4人。

辻議員は、「要望は大體理解している」と共通番号制の問題に触れて

「私は、もともと国民総背番号制などには反対の立場。撤回は難しいが働きかけてみたい」とした。

服部議員は、一体改悪反対3・3近畿総決起集会への参加を求めたところ、「ちょうど大阪で他の集會に参加している。可能であれば挨拶だけでも顔を出したい」と賛意を示した。

山下議員は、「国会議員の定数を削減してもそれほど予算の削減にはつながらない。無駄を言うなら政党助成金に300億円以上使っている。そ

「私たちが、国民の健康を守るために、歯科医療の発展を促すために、協会・保団連とともに、国政を動かすために、行動を起こすことを決意している」と述べた。

要請議員一覧

【面談】衆院 民・辻恵、共・宮本岳志、社・服部良一
参院 共・山下芳生
【秘書対応】衆院 民・稲見哲男、大谷啓、大谷

信盛、熊谷貞俊、熊田篤嗣、樽床伸二、辻元清美、中川治、中野寛成、長尾敬、長安豊、萩原仁、樋口俊一、平野博文、藤村修、松岡広隆、村上史好、森山浩行、吉田おさむ、渡辺義彦、自・近藤三津枝、谷畑孝、西野あきら、松浪健太、柳本卓治、公・佐藤茂樹、共・吉井英勝、無・中島正純
参院 民・梅村聡、尾立源幸、藤原正司、自・北川イッセイ、谷川秀善、公・石川博崇、白浜一良、山本香苗 (敬称略・順不同)

お知らせ

協会の社保担当事務局員は、4月中旬まで改定書籍『歯科保険診療の研究』『要点と解説』の製作業務で事務所を離れます。お問い合わせは出先から折り返しの対応となります。

発原そうなく

3.11府民1万人集会

協会も参加する「原発ゼロの会・大阪」は、東日本大震災1周年の3月11日(日)に震災復興と自然エネルギーの推進を求めて1万人集会を開きます。ぜひ、ご参加ください。

【日時】 3月11日(日)
正午~集会プレ企画
午後2時~府民1万人集会
午後3時~なくそう原発パレード

【会場】 扇町公園(大阪市北区)

歯界

仲の良い高校生が2人、私たちが学校はすばらしい」という言葉を発信しようとする。誰にどういって、社会にどうか世界にどうか、空想でなくごく身近な現実なのだ。VTR(あるいはDVDレコーダー)で校内や部活の様子を映し、部員のインタビューも録画する。ストーリーにするために、introがある。そこでフリー配信の動画ライブラリーにエンタリーして水族館でのイルカの活躍をダウンロードする。audioは学校の周辺の風景がよい。集めた材料をパソコンに入力して、音楽配信ソフトを使ってBGMを入れナレーションを加える。蛇足部分をカットし、タイトルと作者名を入れたら完成だ。